



月2回刊=1441号
2015年7月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

14,670筆の署名提出

地公共闘「給与制度の総合的見直し」反対で人事委に要請



要請署名を手渡す砂金地公共闘議長(左)

岩手県地方公務員共闘会議(砂金良昭議長・岩教組委員長)は7月15日、「給与制度の総合的見直し」に反対し、生活水準を維持・改善する動きを求める要請署名3380枚・14670筆を人事委員会坊良職員課長に提出した。

「給与制度の総合的見直し」については昨年、全国的に導入されたが、本県を含む5府県では導入を見送らせることができた。しかし、国はこの5府県の人事当局と人事委員会の担当者を集め、説明を求めると、導入への圧力をかけており、今年の人事委員会闘争を取り組みの正念場となる。このため地公共闘会議では15人勧期のたたかいに、向けて早目の取り組みを進めてきた。

二戸市議選

鈴木忠幸 議席を守る

「市民の暮らし」向上に全力尽くす



「市民目線で議会活動に全力を尽くす」と決意を述べる鈴木忠幸市議。(左)

7月19日に告示された二戸市議会議員選挙は26日投票が行われ、県職労組織内候補の「鈴木忠幸」は、541票を獲得、18位で見事9選を果たし議席を確保した。

また、久慈市議選では推薦候補の「豊巻直子」が1049票・3位、滝沢市議選で推薦の「山谷仁」は1306票・3位でそれぞれ当選を果たした。各地域で支持拡大にご協力をいただいたことに感謝を申し上げる。

引き続き、統一自治体選の後半戦となる盛岡市議会議員選挙・県議会議員選挙で県職労推薦候補全員の当選を勝ち取る。

プラスの勧告」求める 公務員連絡会が中央行動

公務員連絡会は、7月28日、2015人勧のヤマ場である書記長クラスの人事院交渉と併せて3000人規模での中央行動(日比谷大音楽堂)を配置し、県職労から7人が参加した(県本部全体で20人)。交渉前の決起集会で石原議長から「連合が集計した15春闘情勢に照らしても、月例給・一時金の大幅な改善が必要なのは明らか。人事院に対してプラス勧告を求めている」

との交渉に向けた決意が示された。その後、霞ヶ関のデモ行進と人事院前交渉支援行動に分かれて交



日比谷大音楽堂に結集した全国の仲間

運動方針満場一致で決める 胆江支部と釜石支部が定期大会

組合員・分会が一体となった運動を

胆江支部定期大会は県内各支部の先頭を切って7月7日、奥州地区合同庁舎第2会議室において開催された。執行部から「一人ひとりの組合員、分会が一体となった運動実践のため、分会ごとの現状を把握し、組合員の声を反映できる支部活動を進める」ことを柱とした運動方針を提案。吉田青婦部長から7月31日に開



胆江支部(上)と釜石支部(下)の大会の様子



「プラス勧告」を求め、霞ヶ関一周のデモ行進

れ、運動方針は満場一致で採択された。(胆江支部定期大会) 釜石支部定期大会は7月15日、合同庁舎4階会議室で開催された。

組合員の声 独自要求に

多田野支部長は「大会は、支部活動をどう進めて行くのかを協議する場だ。大会での討論を今後の支部活動に繋げていきたい」とあいさつ。

運動方針では、執行部から「震災の復旧・復興が本格化するなか、業務量増加に伴う人員補充が行われているが、職員数が増える中での問題や課題も多くある。今年も組合員の声を集約して支部独自要求に取り組み、働きやすい職場の実現を求めていく」と提起、併せて今後の取り組みへの協力を呼びかけた。質疑討論の後、提出された議案すべてが賛成多数で可決された。最後に、多田野支部長の団結がんばろうで閉会した。(釜石支部定期大会)

昨年12月の衆議院選挙で大勝した安倍政権の暴走が止まらない。7月15日に衆議院で強行採決された戦争法案が参議院で審議がされている。磯崎首相補佐官の「法的安定性はいつでもいい」という発言は、立憲主義や法治国家の仕組みを自ら否定して、この法案を強引に通そうとする安倍政権の姿勢そのものとも言える。7・28夜、国会議事堂は戦争法案廃案を求める一万人のデモ隊で埋め尽くされた。労働者・市民団体が結集し、戦争法案廃案を訴え、社民党をはじめとする野党への国会請願を行った。デモ行進中、政府関係者による映像撮影、警察によるデモ隊の分断攻撃、更には右翼による妨害行為が行われ、言論の自由が侵害された。政府を批判する者に圧力をかける姿勢も、今の安倍政権の姿である。▼「モノが言えない」社会が作られている。安倍自公政権は、選挙で大勝し、現在の権力を得た。しかし、選挙こそが私たちが直接政治に反映できる武器でもある。地方から安倍自公政権にNOを突き付け、平和で安心して働き続けられる社会を築くためにも、はたらくものの代表者を政治の場に送ることが重要だ。一丸となって、各級自治体選挙闘争をたたき抜こう。



